

令和7年度下諏訪町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町の農業は主食用米をはじめ、転作作物として野菜の栽培による農業経営が行われている。

しかしながら、高齢化等による農業者の減少、また耕地面積の縮小に伴う生産量の減少等農業をとりまく環境は年々、厳しいものとなっている。

また、中山間地域を中心に鳥獣による農作物被害に伴い、農業者の生産意欲の低下が懸念される。

農業者の生産意欲の向上、担い手の確保を目標に農業経営の是正を図る必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

中山間地では冷涼な気候を生かした農業を行い、市街地内では点在している農地を集約し、転換作物及び高収益作物の栽培を推進する。特産品となる可能性がある作物の導入実験と普及の検証を進め、生産される作物に当町の特色を生かした付加価値を付与し、収益力の向上を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田における遊休農地の畑地化を進め、農地の有効活用及び高収益作物の生産性の向上を目指す。例年実施している水田現地調査を通じて、水田としての機能の有無や利用状況の確認を徹底する。また、畑作物のみを生産している農家に対してはブロックローテーションによる耕作を指導する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

当町に適した優良品種の導入と良質米の普及生産に努め、農業機械の効率的な利用と共同作業等による省力化のもと生産を行う。

米の需要動向や農業者の生産意向を考慮にいれ、米の振興を図る。

(2) 備蓄米

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ 新市場開拓用米

エ WCS 用稲

オ 加工用米

(4) 麦、大豆、飼料作物

(5) そば、なたね

(6) 地力増進作物

※(2)～(6)については、該当農家なし。

今後、該当農家が現れた場合、方針を定める。

(7) 高収益作物

ジャガイモ、トマト、キュウリを中心に野菜を地域振興作物として振興していく。
地産地消を推進する中で、イベントの開催、学校給食、農作物直売所等の継続運営を通じて生産性の向上、及び高品種・高品質でニーズの高い品目の振興を目指す。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	6.59		6.59		7.44	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0.51		0.51		2.00	
・野菜	0.51		0.51		2.00	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
畑地化	0.10				0.84	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	野菜、花卉、果樹（別表） （基幹作物のみ）	高収益作物への助成	交付対象面積(a)	（令和6年度）51a	（8年度）200a （8年度）200a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

作物リスト（出荷・販売目的で作付けしたものに限る）

（整理番号 1：対象作物）

野菜：エダマメ、カボチャ、カリフラワー、キャベツ、きゅうり、小松菜、ゴーヤ、ササギ、サツマイモ、サヤインゲン、サヤエンドウ、ジャガイモ、春菊、スイートコーン、ズッキーニ、大根、たまねぎ、チンゲンサイ、トマト、ナス、ニンジン、ネギ、野沢菜、はくさい、ピーマン、ブロッコリー、ほうれんそう、ホンウリ、ミョウガ、モロヘイヤ、レタス

花卉：カーネーション、菊、リンドウ、かすみ草、スターチス、シクラメン

果樹：ブルーベリー

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:長野県

協議会名:下諏訪町地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	高収益作物への助成	1	48,000(上限49,000円)	野菜、花卉、果樹(別表)基幹作物のみ	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。